



## 2022年度活動 関西委員会

日本包装専士会 関西委員会は関西地区の会員を対象にミニセミナーや見学会を4回／年程度開催しています。今回は7月と9月に開催されたミニセミナーと見学会を紹介します。ミニセミナーはコロナ禍に対応するためWebでおこなっています。

### 7月27日 関西ミニセミナー「包材でここまでできる食品調理容器」

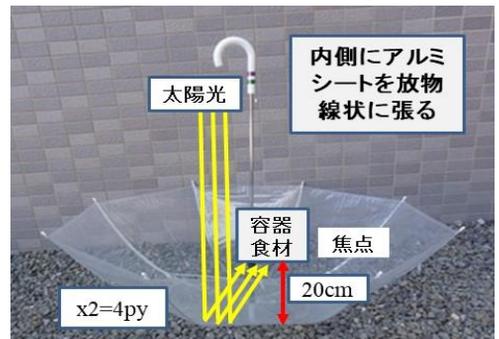
講師：石川県立大学生物資源環境学部食品科学科 講師 藤田萩乃氏

日本国内で年間約80万本のビニール傘が消費されているが、これにアルミ箔構成多層フィルムの反射材を貼り付けて柄の部分に食材を巻き付けて調理を行える、ソーラークッカーをご紹介します。

これは県立大学生が開発し、特許も出願している。この開発品は保管場所を取らず、電気・ガスが使えない状況でも安価で加熱調理ができる為、災害グッズやキャンプ用品としての活用が望まれている。現在は加熱調理に40～50分程度を要するため、約15分で加熱調理できる既製の金属製ソーラークッカーに近づけられるよう、日々改良を進められている。

又、本セミナーでは炭火焼ができる使い切り鍋やIH専用の使い切り蒸し器の開発事例についてもご説明頂いた。

#### <開発品のイメージ>



### 9月28日 資生堂大阪茨木工場見学

2020年12月より稼働が開始され、今年5月から見学が可能になった資生堂の最新工場を関西委員会有志他で見学した。大阪茨木工場は生産工場と物流センターが1つの建屋で運営されているのが特徴で、高価格帯スキンケア製品の生産が行われている。

大画面プロジェクターでの施設概要説明の後、内容物の製造(配合)工程、充填・包装工程を専用通路から案内して頂き、包装業界人にとっては、品質管理面、衛生管理面で非常に参考になるものであった。

その後、ルームフレグランスのラベル作成～自動充填・キャッピング、包装までを体験できるワークショップスクール、五感を使って官能検査を体験できるセンサリーテストラボを受講し、化粧品が数値だけで管理できない厳しさを学ぶことができた。

現在はコロナ禍で限定されたコースではあったが、世界企業の工場運営を見ることができ、大変満足できる見学会であった。

◆次回関西ミニセミナー 2022年11月24日開催

「GAFAMの研究」

講師：日本包装専士会関西委員会 清水太一氏